

(26) 体育学教育における授業モデルの検討

サイバー・キャンパス・コンソーシアム体育学グループは、22年12月、23年1月の2回開催し、学士力の実現に求められるICT活用の授業モデルの検討を行った。

社会の中でスポーツを通じて心身の健康に関与できる能力を身に付けさせる授業モデルを2例とりあげることにした。

一つは、初めて体験するスポーツをグループで学び、競技を通してスポーツと運動による健康管理やストレスの解消を体験させ、心身ともに充実したライフスタイルを送ることができることとその体験を他者に伝える能力を目指した授業モデルとした。

二つは、競技力向上にかかわる指導力を身に付けさせるため、トレーニングの構造を体験を通じて学ばせ、トレーニングの基礎知識、競技力向上のためのプログラミング、技術指導、競技力チェックなどのコーチングを身に付けさせるとともに、競技スポーツの振興や普及に活用できる能力を開発させる授業モデルとした。